

りとにゅーす

No.61 2010.4.1 新入生歓迎号

図書館の情報を
携帯でチェック!!編集・発行 岡山理科大学図書館
〒700-0005 岡山市北区理大町1-1
<http://www.lib.ous.ac.jp>図書館を利用して
大学の学習に慣れていきましょう!岡山理科大学 副学長
豊田 真司

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。これから4年間。大学で社会人になるために必要な教養、技術、専門知識を身につけるための学習を行っていきます。自分の好きな専門分野の勉強が思い存分できるので期待に胸膨らませている人もいれば、勉強が難しそうでどうなるか不安な人もいることでしょう。

大学での学習を少しでも知ってもらうために、高校までの学習との違いを考えてみます。高校まではどちらかというと「覚える」学習が中心だったと思います。大学で学ぶことは幅広く専門的になるので、すべてを覚えるのは不可能です。基本的なことをしっかりと身につけ、それを用いて「考える」ことが重要になります。考える習慣をつけるにはどうしたらいいのでしょうか? 一つの方法は、活字をしっかりと読んで内容を深く理解することです。読むものは本でも新聞や雑誌でもいいですが、モニター画面上よりは紙上の活字の方が好ましいと思います。また、教科書や参考書をしっかりと読むことは、授業の勉強をしながら考える力もつくるので、役に立つでしょう。もう一つ、大学では教えられることをそのまま身に付

ける「受動的」な学習から、自ら疑問や課題を見つけてそれを解決する方法を考える「能動的」な学習が要求されます。実験や演習では、答えのない課題に自分で工夫して取り組むことがあります。その時に、図書館に備えられている沢山の参考書や辞書・辞典を利用して、資料を収集、分析して結果をまとめることはいい経験になるでしょう。友達や先生と意見を交換すること(質疑やディベート)も、能動的な学習に大きな効果があります。

学習に対する姿勢を変えていくことには、しばらくの間戸惑いもあると思います。学科の先生や授業担当の先生にアドバイスを受けながら、少しずつそれに慣れていくとよいでしょう。4年後には社会人に必要とされる幅広い能力を身につけ、自分の将来の夢をかなえることを切に願っています。図書館には、授業に関係した専門書のみならず、一般の図書、文庫や雑誌あるいは視聴覚資料も豊富にあります。普段からいろいろな本を読むことは、これからの人生を豊かにしていきます。学習の面でもそれ以外の面でも充実した学生生活を送るために、本学の図書館を積極的に利用して下さい。



大学の講義を受けるコツは、この本で

いきなり、レポートが出た。でも、どうやれば書けるんだろう。大学の講義を受けると、高校との違いに驚くことも多く、最初は不安もあるかと思います。

そんなときに、ぜひ一読ください。大学での学び方が分かります。

4月中は、21号館の入学・新学期 特設コーナーにあります。

『知へのステップ』改訂版 学習技術研究会編著 くろしお出版

●所在: 21号館一般 ●請求記号: 377.15/Ga

